

2 主要業種の動向

(1) 鉄鋼業

- ① 生産（付加価値額ウェイト981.1 生産19業種中3位）
30年の生産は100.5で、前年比0.3%増と2年連続の上昇となった。
これは、鋳鋼品、鋼帯などが低下したが、
特殊鋼冷間仕上鋼材、ブリキ・ティンフリースチールなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1071.6 出荷19業種中3位）
30年の出荷は98.6で、同0.8%減と2年ぶりの低下となった。
これは、特殊鋼冷間仕上鋼材、ブリキ・ティンフリースチールなどが上昇したが、
鋼帯、冷延広幅帯鋼などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト3458.7 在庫18業種中1位）
30年の在庫は96.2で、同11.9%増の上昇となった。
これは、特殊鋼熱間圧延鋼材などが低下したが、
軌条・外輪、鋼半製品などが上昇したことによる。

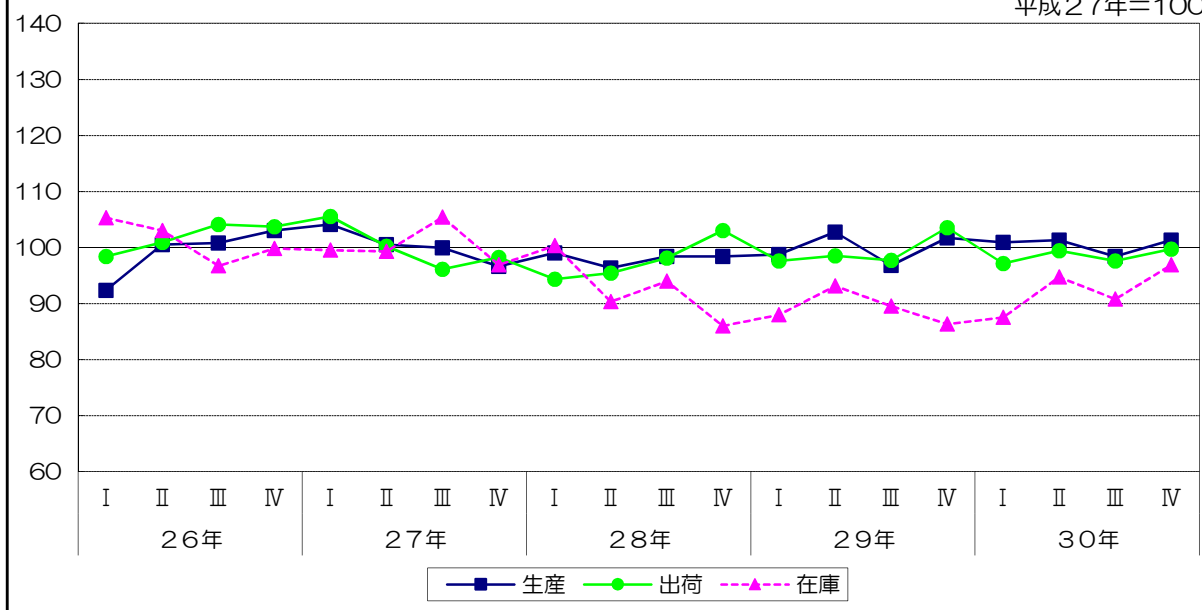
鉄鋼業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	99.2	100.0	97.6	100.2	100.5	100.9	101.3	98.4	101.3
前期(年)比	0.4	0.8	▲2.4	2.7	0.3	▲0.8	0.4	▲2.9	2.9
前年同期比	-	-	-	-	-	1.6	▲0.1	0.6	▲0.9
出荷	101.8	100.0	97.6	99.4	98.6	97.1	99.4	97.6	99.7
前期(年)比	3.0	▲1.8	▲2.4	1.8	▲0.8	▲6.2	2.4	▲1.8	2.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.4	0.6	▲0.9	▲1.7
在庫	102.3	98.5	86.4	86.0	96.2	87.5	94.7	90.8	96.9
前期(年)比	▲20.0	▲3.7	▲12.3	▲0.5	11.9	1.4	8.2	▲4.1	6.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.5	3.3	1.3	11.9

鉄鋼業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト501.5 生産19業種中8位）
30年の生産は105.3で、前年比3.7%減と2年連続の低下となった。
これは、ガス湯沸器、スチール・ステンレス製建具が上昇したが、
飲料用缶、鋼管（バンディングロールで成形したもの）などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト287.3 出荷19業種中10位）
30年の出荷は102.0で、同4.0%減と2年連続の低下となった。
これは、ガス湯沸器などが上昇したが、
飲料用缶、鋼管（バンディングロールで成形したもの）などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト656.3 在庫18業種中4位）
30年の在庫は93.5で、同4.8%増と2年連続の上昇となった。
これは、ガス湯沸器などが低下したが、
飲料用缶、スチール・ステンレス製建具などが上昇したことによる。

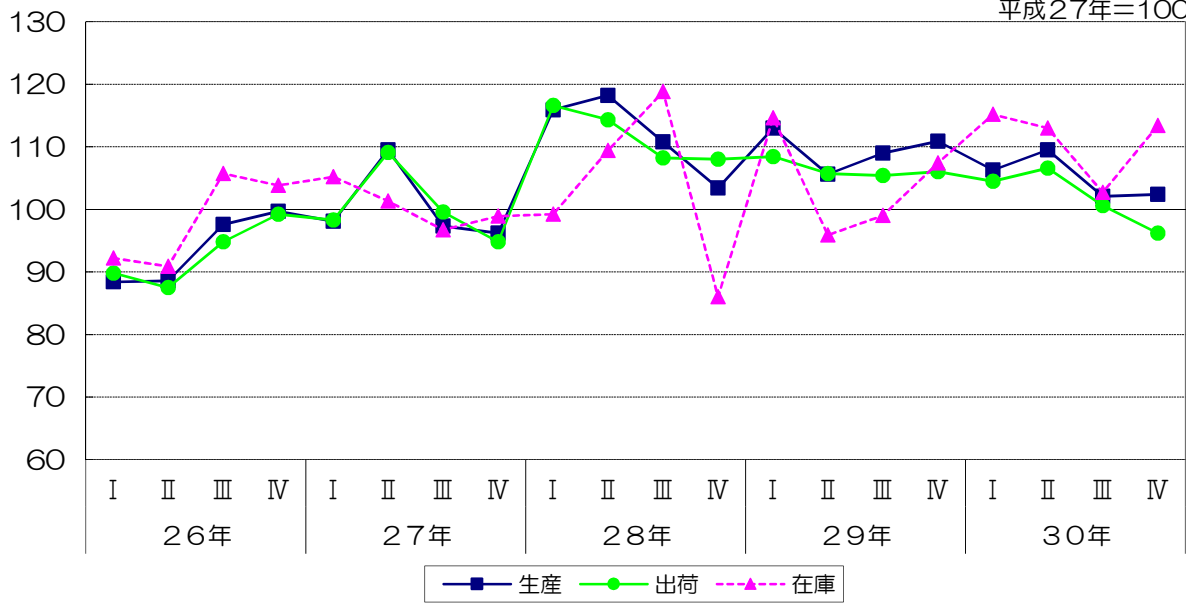
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	93.4	100.0	112.4	109.4	105.3	106.3	109.5	102.1	102.4
前期(年)比	7.1	7.1	12.4	▲2.7	▲3.7	▲4.1	3.0	▲6.8	0.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.0	3.3	▲8.3	▲5.8
出荷	92.8	100.0	111.9	106.2	102.0	104.5	106.6	100.6	96.2
前期(年)比	1.9	7.8	11.9	▲5.1	▲4.0	▲1.4	2.0	▲5.6	▲4.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.8	▲0.9	▲5.2	▲8.0
在庫	87.2	82.8	71.9	89.2	93.5	115.2	113.0	102.7	113.4
前期(年)比	7.5	▲5.0	▲13.2	24.1	4.8	7.3	▲1.9	▲9.1	10.4
前年同期比	—	—	—	—	—	3.0	19.6	▲0.6	4.8

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(3) 汎用・生産用機械工業

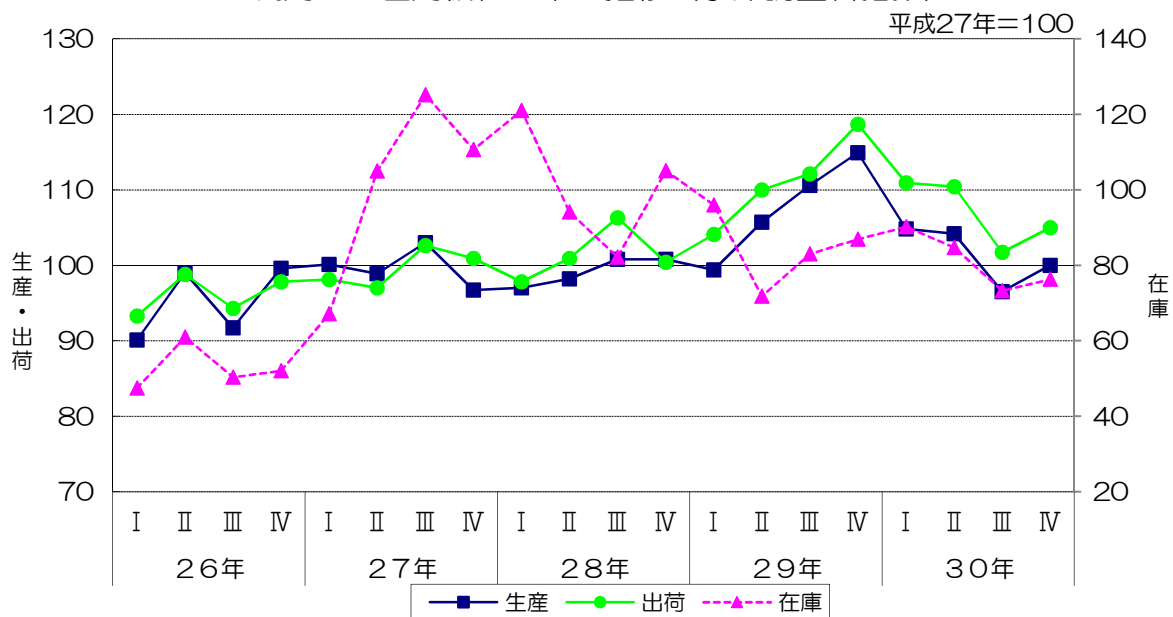
- ① 生産（付加価値額ウェイト832.1 生産19業種中4位）
30年の生産は101.3で、前年比5.9%減と2年ぶりの低下となった。
これは、数値制御放電加工機、ショベル系掘削機などが上昇したが、
鉄鋼用ロール、半導体製造装置などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト551.1 出荷19業種中4位）
30年の出荷は107.0で、同3.6%減の低下となった。
これは、産業用ロボット、数値制御放電加工機などが上昇したが、
鉄鋼用ロール、クレーンなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト592.2 在庫18業種中6位）
30年の在庫は82.5で、同9.6%減と3年連続の低下となった。
これは、ダイヤモンド工具が上昇したが、
ショベル系掘削機、電気ホイストなどが低下したことによる。

汎用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	30年			
						I	II	III	IV
生産	95.0	100.0	99.4	107.6	101.3	104.8	104.2	96.5	100.0
前期(年)比	16.9	5.3	▲0.6	8.2	▲5.9	▲8.8	▲0.6	▲7.4	3.6
前年同期比	-	-	-	-	-	3.7	▲2.4	▲12.8	▲10.3
出荷	95.9	100.0	101.6	111.0	107.0	110.9	110.4	101.7	105.0
前期(年)比	14.4	4.3	1.6	9.3	▲3.6	▲6.6	▲0.5	▲7.9	3.2
前年同期比	-	-	-	-	-	6.2	0.2	▲9.8	▲9.7
在庫	52.1	112.4	108.6	91.3	82.5	90.2	84.7	73.3	76.3
前期(年)比	3.6	115.7	▲3.4	▲15.9	▲9.6	3.8	▲6.1	▲13.5	4.1
前年同期比	-	-	-	-	-	8.4	16.2	▲16.5	▲9.6

汎用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト364.0 生産19業種中12位）
30年の生産は176.7で、前年比11.6%増と2年連続の上昇となった。
これは、シリコンダイオードなどが低下したが、
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト245.6 出荷19業種中11位）
30年の出荷は196.8で、同15.3%増と5年連続の上昇となった。
これは、シリコンダイオード、音響部品（スピーカ・マイクロフォン）などが
低下したが、トランジスタなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト155.7 在庫18業種中13位）
30年の在庫は98.7で、同2.0%増と2年連続の上昇となった。
これは、トランジスタが低下したが、
線形回路などが上昇したことによる。

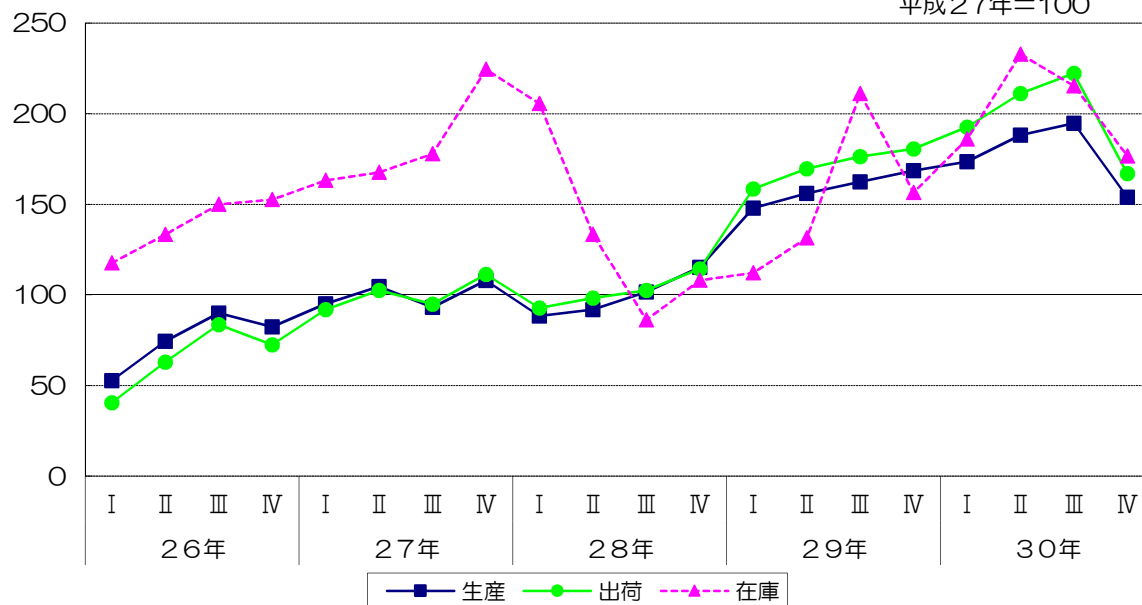
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	74.8	100.0	99.6	158.4	176.7	173.4	188.1	194.7	153.9
前期(年)比	43.3	33.7	▲0.4	59.0	11.6	2.9	8.5	3.5	▲21.0
前年同期比	—	—	—	—	—	15.5	23.0	21.3	▲9.3
出荷	64.9	100.0	101.9	170.7	196.8	192.5	211.0	222.3	166.9
前期(年)比	51.6	54.1	1.9	67.5	15.3	6.6	9.6	5.4	▲24.9
前年同期比	—	—	—	—	—	18.0	29.2	28.3	▲8.6
在庫	94.9	140.1	67.3	96.8	98.7	104.2	130.4	120.6	98.9
前期(年)比	22.0	47.6	▲52.0	43.8	2.0	18.9	25.1	▲7.5	▲18.0
前年同期比	—	—	—	—	—	62.4	87.8	8.8	2.0

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(5) 輸送機械工業

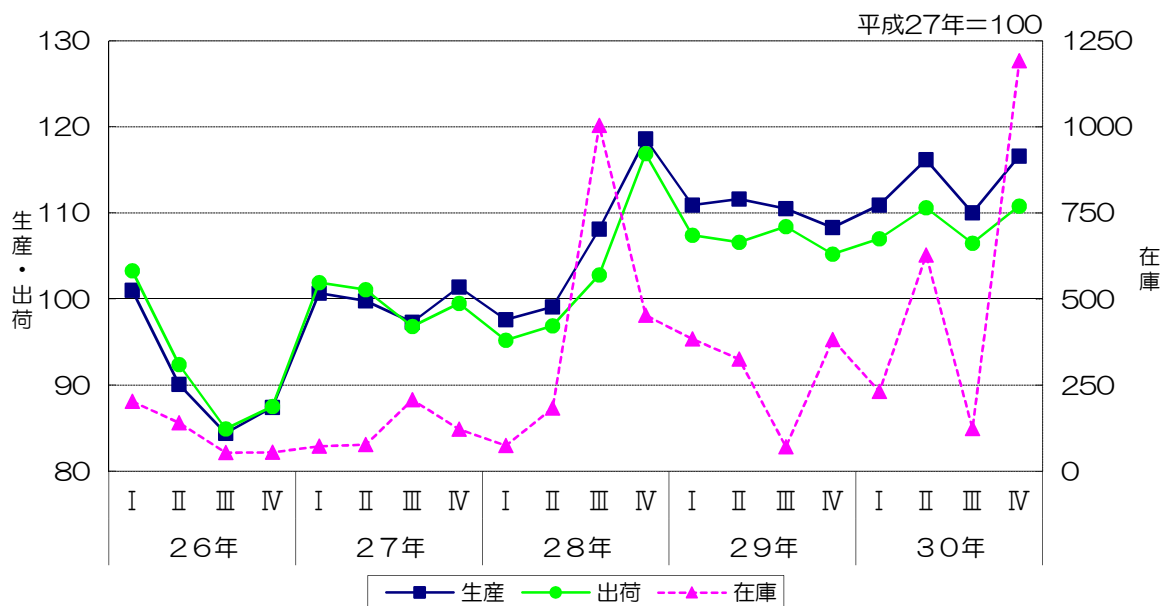
- ① 生産（付加価値額ウェイト2024.8 生産19業種中1位）
30年の生産は113.6で、前年比3.1%増と4年連続の上昇となった。
これは、バス、鋼船などが低下したが、
エンジン、四輪自動車などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト3996.2 出荷19業種中1位）
30年の出荷は108.8で、同1.8%増と4年連続の上昇となった。
これは、バスなどが低下したが、
四輪自動車、エンジンなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト289.4 在庫18業種中12位）
30年の在庫は1319.8で、同325.2%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、乗用車用エアコンが低下したが、
四輪自動車が増加したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年				
						I	II	III	IV
生産	90.7	100.0	106.0	110.2	113.6	110.9	116.2	110.0	116.6
前期(年)比	▲1.3	10.3	6.0	4.0	3.1	2.4	4.8	▲5.3	6.0
前年同期比	—	—	—	—	—	1.1	5.0	▲2.7	8.9
出荷	91.9	100.0	103.1	106.9	108.8	107.0	110.6	106.5	110.8
前期(年)比	▲2.4	8.8	3.1	3.7	1.8	1.7	3.4	▲3.7	4.0
前年同期比	—	—	—	—	—	0.7	4.7	▲4.6	6.6
在庫	51.8	107.9	379.0	310.4	1319.8	232.0	628.0	123.5	1191.5
前期(年)比	▲78.3	108.3	251.3	▲18.1	325.2	▲39.2	170.7	▲80.3	864.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲36.0	100.3	50.6	325.2

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）



(6) 窯業・土石製品工業

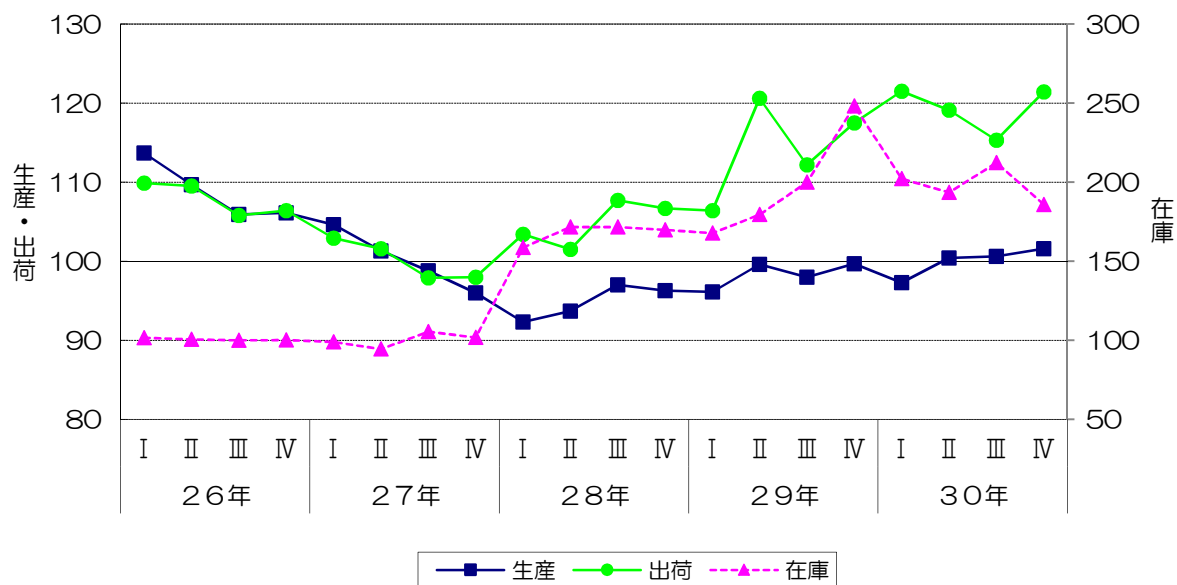
- ① 生産（付加価値額ウェイト593.0 生産19業種中7位）
30年の生産は100.0で、前年比1.6%増と2年連続の上昇となった。
これは、ほうろう鉄器、プレストレストコンクリート製品などが低下したが、生コンクリート、耐火れんがなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト359.9 出荷19業種中6位）
30年の出荷は119.4で、同4.6%増と3年連続の上昇となった。
これは、生石灰、プレストレストコンクリート製品などが低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト605.4 在庫18業種中5位）
30年の在庫は189.4で、同24.7%減の低下となった。
これは、プレストレストコンクリート製品などが上昇したが、耐火れんがなどが低下したことによる。

窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	1088	1000	94.7	98.4	100.0	97.3	100.4	100.6	101.6
前期(年)比	▲0.4	▲8.1	▲5.3	3.9	1.6	▲2.4	3.2	0.2	1.0
前年同期比	-	-	-	-	-	0.1	1.2	2.5	2.6
出荷	1079	1000	104.9	114.1	119.4	121.5	119.1	115.3	121.4
前期(年)比	▲4.4	▲7.3	4.9	8.8	4.6	3.4	▲2.0	▲3.2	5.3
前年同期比	-	-	-	-	-	15.4	▲1.1	1.8	3.6
在庫	1023	1035	172.1	251.4	189.4	202.3	193.6	212.3	185.8
前期(年)比	3.9	1.2	66.3	46.1	▲24.7	▲18.5	▲4.3	9.7	▲12.5
前年同期比	-	-	-	-	-	17.1	4.8	10.3	▲24.7

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数） 平成27年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト728.8 生産19業種中5位）
30年の生産は104.0で、前年比3.9%減の低下となった。
これは、触媒、ポリカーボネートなどが上昇したが、
ビスフェノールA、医薬品などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト518.7 出荷19業種中5位）
30年の出荷は112.8で、同3.2%減と3年ぶりの低下となった。
これは、触媒、クレオソート油などが上昇したが、
医薬品、ビスフェノールAなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1240.4 在庫18業種中2位）
30年の在庫は102.5で、同18.9%増と2年連続の上昇となった。
これは、合成染料、クレオソート油などが低下したが、
ポリカーボネート、ビスフェノールAなどが上昇したことによる。

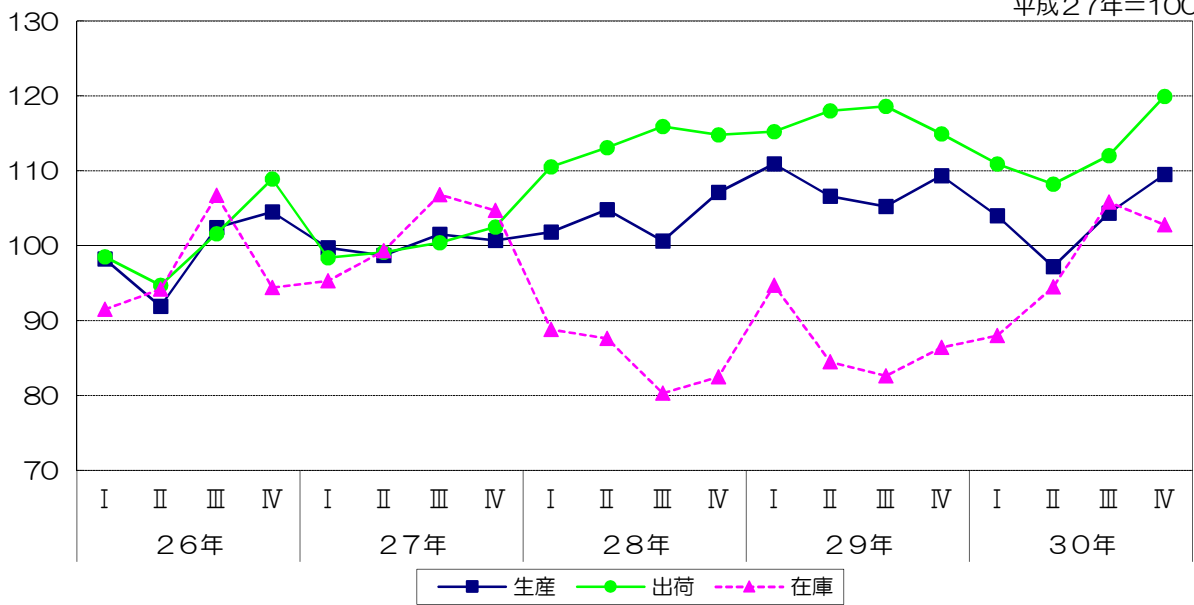
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	99.3	100.0	103.2	108.2	104.0	104.0	97.2	104.3	109.5
前期(年)比	4.5	0.7	3.2	4.8	▲3.9	▲4.8	▲6.5	7.3	5.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.3	▲10.5	▲1.6	2.0
出荷	100.7	100.0	113.7	116.5	112.8	110.9	108.2	112.0	119.9
前期(年)比	0.6	▲0.7	13.7	2.5	▲3.2	▲3.5	▲2.4	3.5	7.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲3.2	▲9.5	▲6.5	6.6
在庫	93.5	103.6	81.9	86.2	102.5	88.0	94.5	105.8	102.8
前期(年)比	12.0	10.8	▲20.9	5.3	18.9	1.9	7.4	12.0	▲2.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.8	11.0	29.7	18.9

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1714.9 生産19業種中2位）
30年の生産は97.4で、前年比2.1%減と2年連続の低下となった。
これは、その他の調味料などが上昇したが、パン、ビールなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1409.7 出荷19業種中2位）
30年の出荷は94.3で、同5.3%減と2年連続の低下となった。
これは、その他の調味料などが上昇したが、ビール、パンなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト821.8 在庫18業種中3位）
30年の在庫は99.7で、同11.8%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、発泡酒（その他雑酒含む）などが低下したが、焼酎、その他の調味料などが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	96.9	100.0	102.4	99.5	97.4	99.4	95.4	98.3	97.2
前期(年)比	▲3.4	3.2	2.4	▲2.8	▲2.1	▲1.1	▲4.0	3.0	▲1.1
前年同期比	—	—	—	—	—	0.7	▲5.5	▲1.7	▲1.9
出荷	95.8	100.0	102.2	99.6	94.3	96.7	94.3	94.6	92.6
前期(年)比	▲4.4	4.4	2.2	▲2.5	▲5.3	▲5.1	▲2.5	0.3	▲2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.0	▲5.6	▲5.5	▲7.8
在庫	81.5	88.6	95.8	89.2	99.7	109.4	99.9	101.6	108.8
前期(年)比	▲4.8	8.7	8.1	▲6.9	11.8	10.3	▲8.7	1.7	7.1
前年同期比	—	—	—	—	—	14.2	0.9	▲2.8	11.8

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100

